

## 8月9日梅雨前線の影響による出水における 北上川上流域の治水事業効果について（速報）

～ 御所ダム既往最大の流入量、  
約7割の水量を溜め込んで下流の被害を軽減 ～

「記録的な大雨に関する気象情報」がでた岩手県の、観測史上1位※1（158 mm）の降水量を記録した雫石町にある**御所ダム**では、**ダムへの最大流入量が3,733 m<sup>3</sup>/秒**となり、計画高水流量2,450 m<sup>3</sup>/秒をはるかに上回る**既往最大の記録的な流入量**となりました。このうち**約7割の水量（最大2,548 m<sup>3</sup>/秒）**を御所ダムに**ため込む**操作を行い、下流の被害を軽減しました。

※1：気象庁HP「昨日・今日の全国観測地ランキング」から、  
岩手県雫石地点の3時間降水量日最大値

○御所ダムでは、最大で2,548 m<sup>3</sup>/秒を、四十四田ダムでは317 m<sup>3</sup>/秒の洪水を貯留し、下流水位低減を図りました。  
【約3223万m<sup>3</sup>（東京ドーム約26杯分、岩手県庁約380杯分）の水をダム湖に貯めました】

○盛岡市の雫石川合流点付近では仮にダムが無ければ更に約4.0 m水位が上昇して、盛岡市街地の各地点ではん濫する危険性があったと推測されます。河川堤防とダムの整備により洪水被害を防ぐことが出来ました。  
【浸水のおそれがあったエリアでは、約12,000戸、約5,500億円の被害と想定されます】

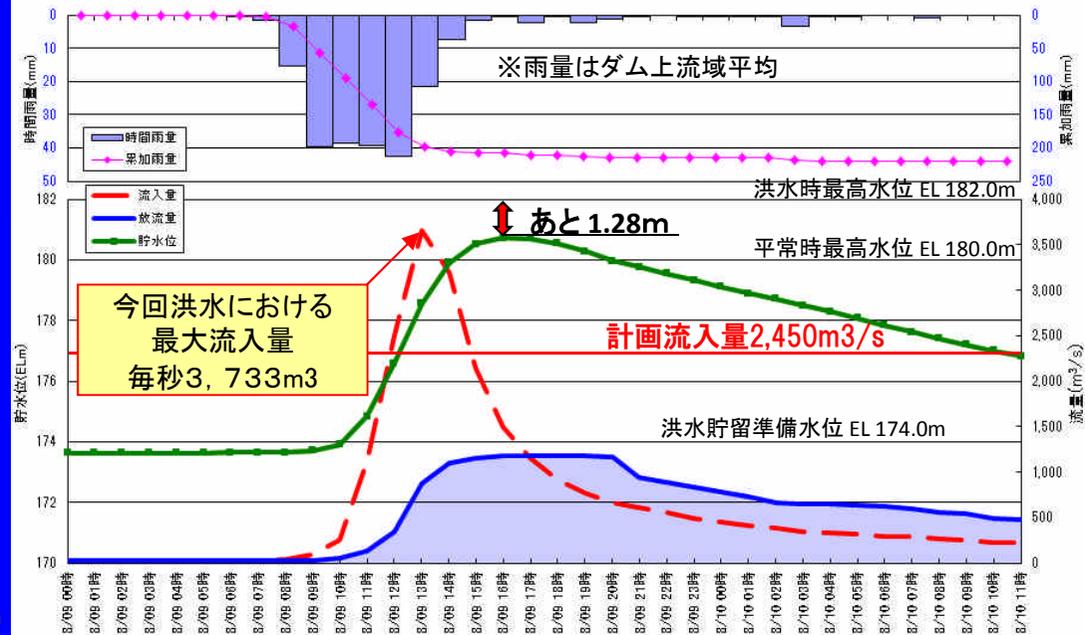
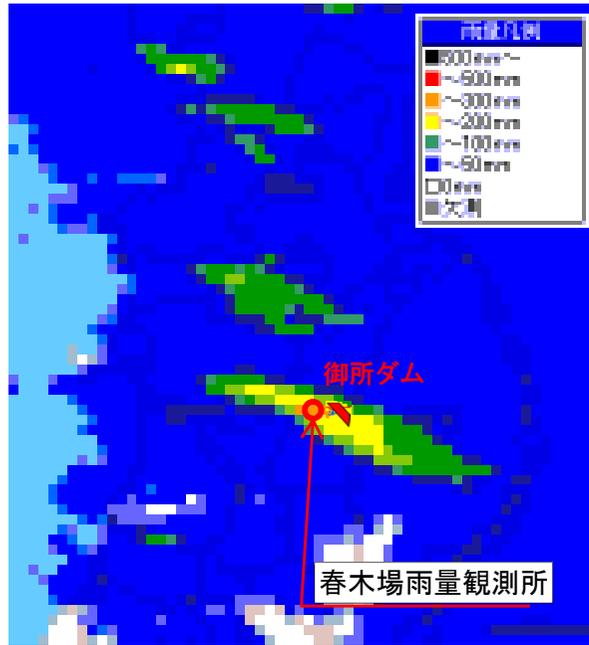
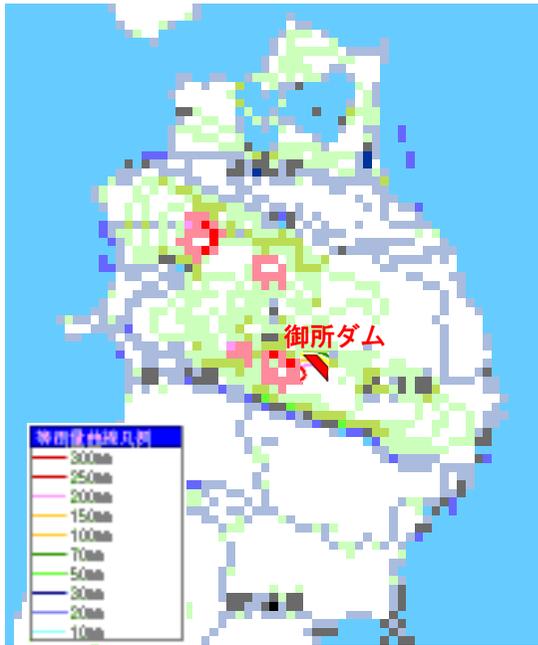
発表記者会：岩手県政記者クラブ

問い合わせ先	
国土交通省 岩手河川国道事務所	
副所長（河川）	長内 伸夫（内線204）
調査第一課長	福田 修（内線351）
Tel	019-624-3166
国土交通省 北上川ダム統合管理事務所	
副所長（技術）	尾形 清（内線205）
管理第一課長	中島 勇一郎（内線331）
Tel	019-643-7831（代表）

# 北上川水系 御所ダムで計画規模を越える流入量を観測 (平成25年8月9日低気圧)

はるきは

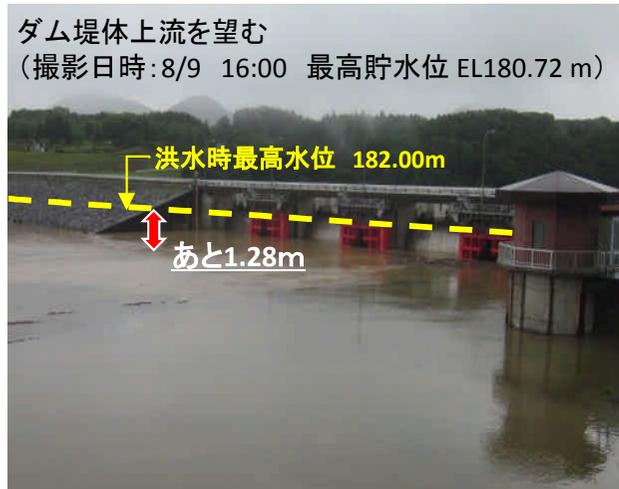
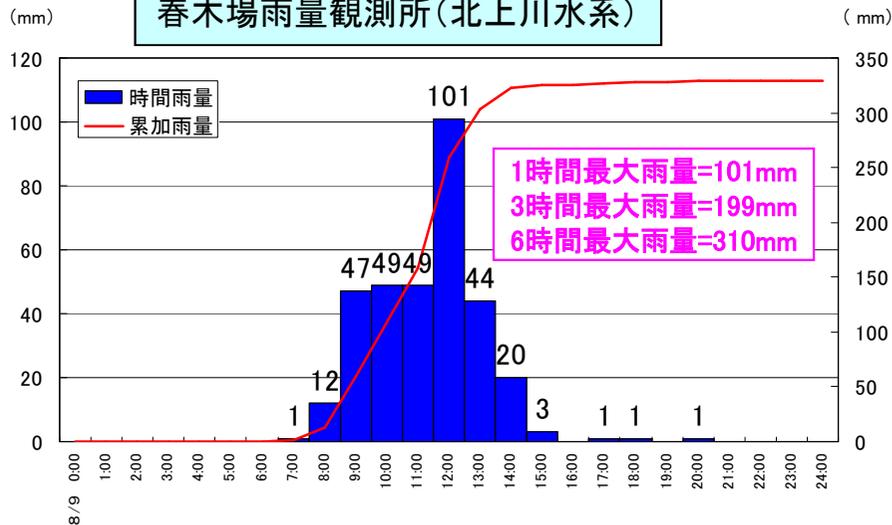
○低気圧に伴う降雨で御所ダム上流域において、時間最大雨量101mm(春木場観測所)、上流域平均累加雨量220mm(9日5時~10日5時)を観測し、ダムへの**最大流入量が3,733m<sup>3</sup>/秒**と計画高水流量2,450m<sup>3</sup>/秒をはるかに上回る既往最大の流入量となりました。



等雨量線図(8日19時~9日19時)

累加レーダ雨量(9日6時~15時)

春木場雨量観測所(北上川水系)



御所ダムの状況

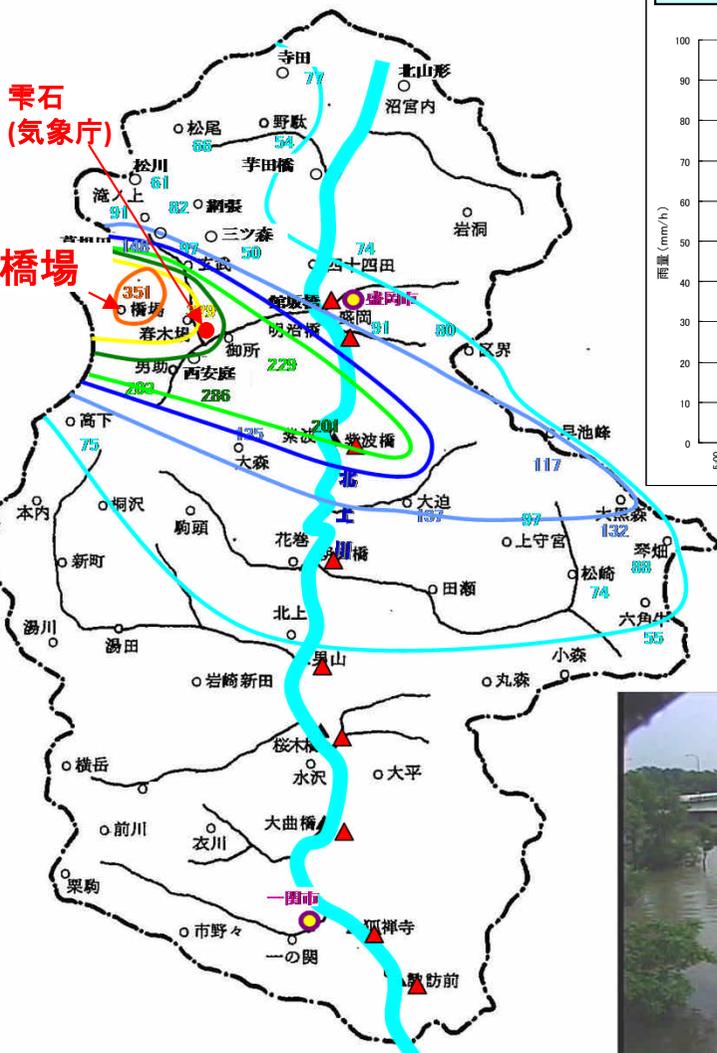


雫石川の合流部付近の状況

きたかみがわ しずくいしがわ  
**北上川水系 雫石川の出水概要 (平成25年8月9日低気圧)**

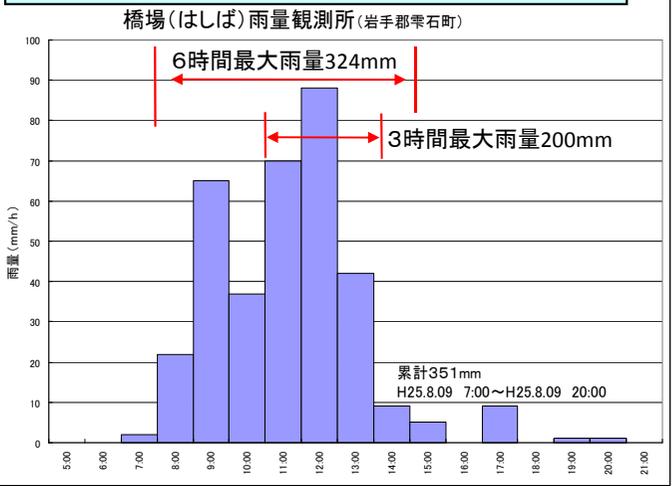
○出水概要

しずくいしがわ おおたばし  
 平成25年8月9日午前6:00頃からの降雨により、北上川及び雫石川の水位が上昇し、雫石川の太田橋水位観測所では、平成19年9月洪水(4.81m)に次ぐ、**観測史上2番の4.74m**を観測、計画高水位まであと70cmとなる出水となった。



▲等雨量線図(9日 6:00~18:00)

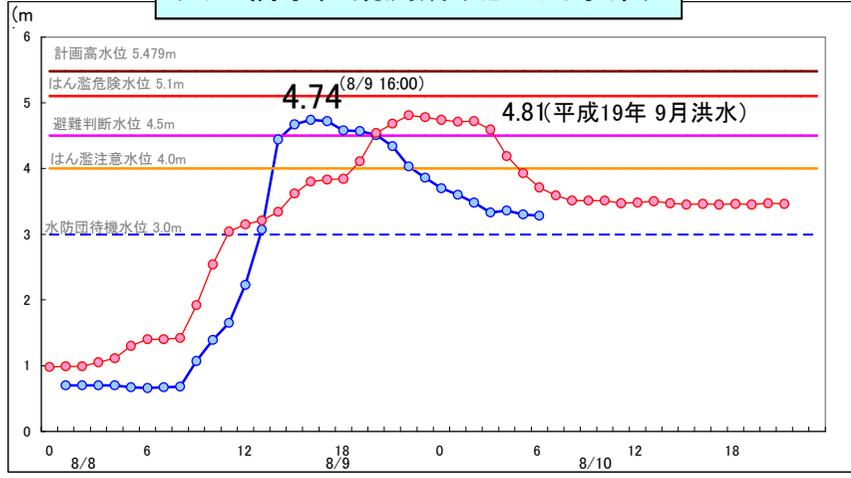
橋場(はしば)雨量観測所(北上川水系)



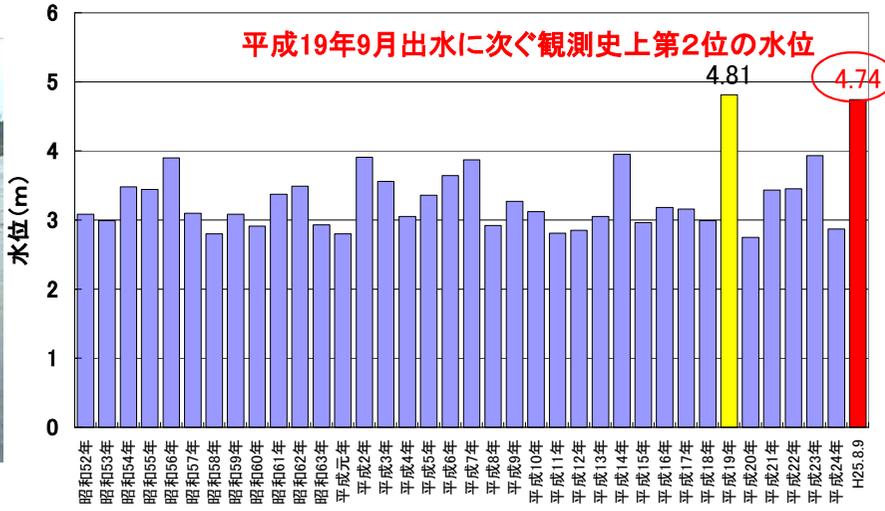
気象庁 雫石観測地点において、  
 観測開始以降最大の日雨量 264mm/日  
 最大1時間降水量78mm/hを観測



太田橋水位観測所(北上川水系)



太田橋水位観測所の年最高水位



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 北上川水系 北上川及び雫石川の出水状況 (平成25年8月9日低気圧)

しわちよう はたふく  
紫波町 甘木地区 (外水氾濫)



しわちよう ひづめ  
紫波町 日詰地区 (内水氾濫)



ごしよ  
御所ダム



雫石町

滝沢村

盛岡市

紫波町

矢巾町

みるまえ  
見前地区 (基盤漏水水防活動)



漏水箇所

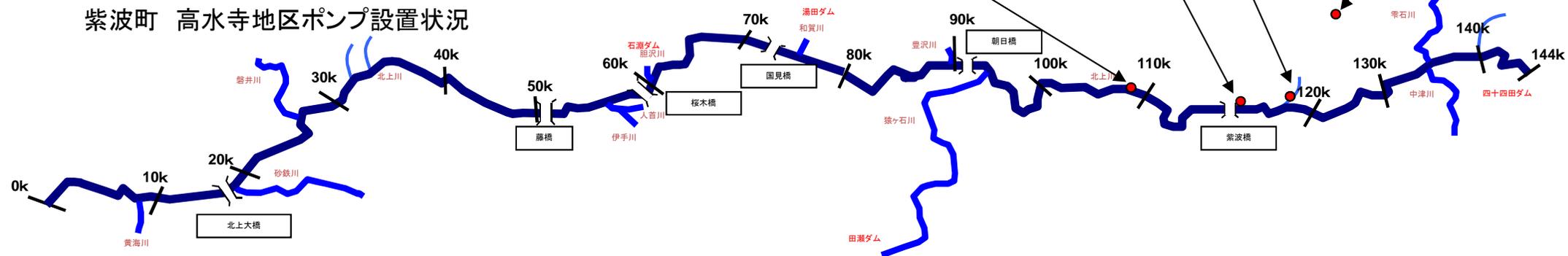
見前堤防

北上川・雫石川・中津川 合流部





紫波町 高水寺地区ポンプ設置状況



# 災害対策車の出動状況

岩手河川国道事務所  
排水ポンプ車  
10-4242  
花巻市石鳥谷町好地  
稼働: 5時間50分  
9日 18:10~24:00

岩手河川国道事務所  
排水ポンプ車  
22-4280  
紫波町日詰第二排水樋管  
稼働: 7時間30分  
9日 17:30~10日 1:00

岩手河川国道事務所  
排水ポンプ車  
10-4241  
紫波町高水寺付近  
稼働: 24時間20分  
9日 15:40~10日 16:00

岩手河川国道事務所  
排水ポンプ車  
12-4240  
矢巾町又兵衛新田  
稼働: 21時間40分  
9日 21:20~10日 19:00

出動機械の凡例

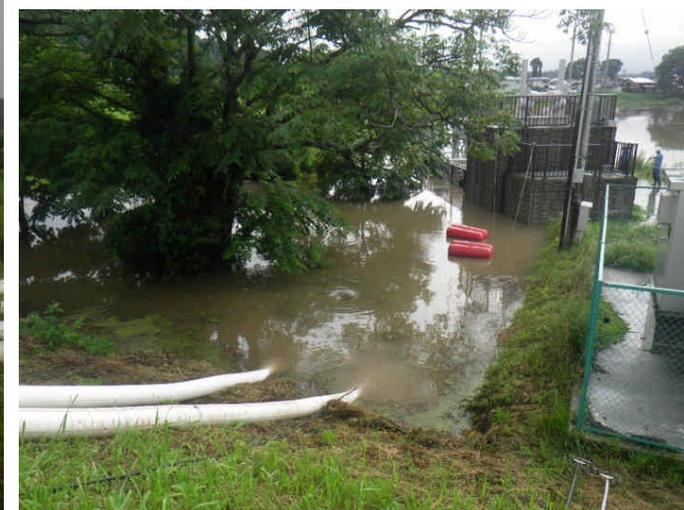
- 排水ポンプ車 (30m<sup>3</sup>/min)
- 排水ポンプ車 (60m<sup>3</sup>/min)



紫波町 高水寺地区ポンプ設置状況



紫波町 高水寺地区ポンプ排水状況



紫波町 高水寺地区堤内地湛水状況

# きたかみがわ 北上川水系 御所ダムと四十四田ダムの連携効果 (平成25年8月9日低気圧)

○御所ダムでは**最大2,548 m<sup>3</sup>/秒**を、四十四田ダムでは**317 m<sup>3</sup>/秒**の洪水を貯留し、**下流水位の低減**を図りました。

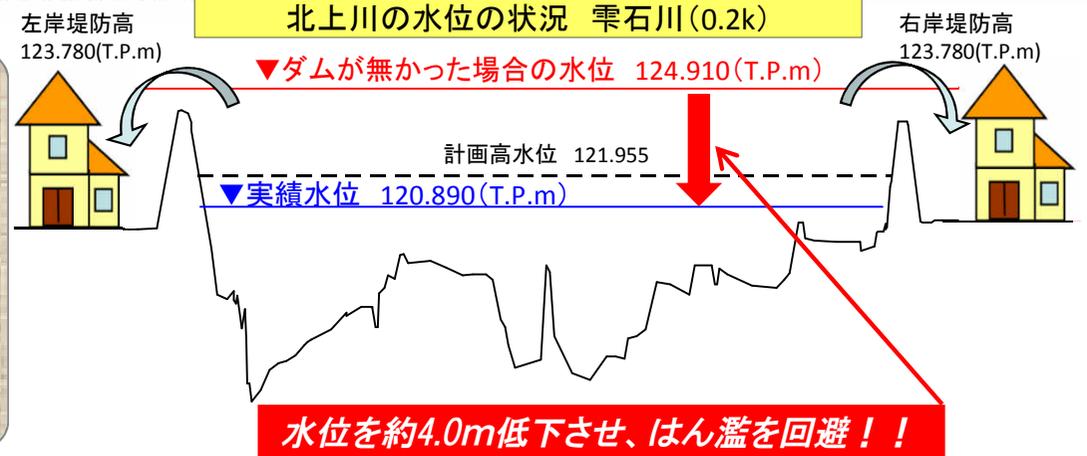
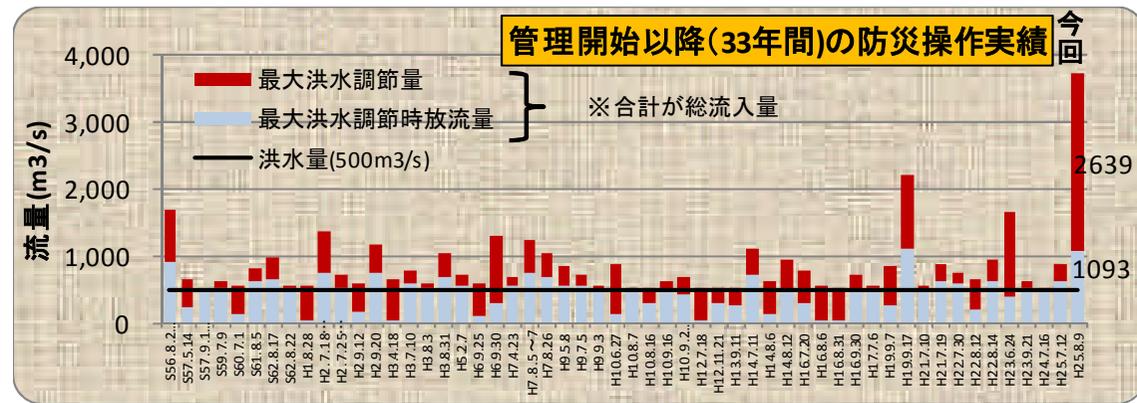
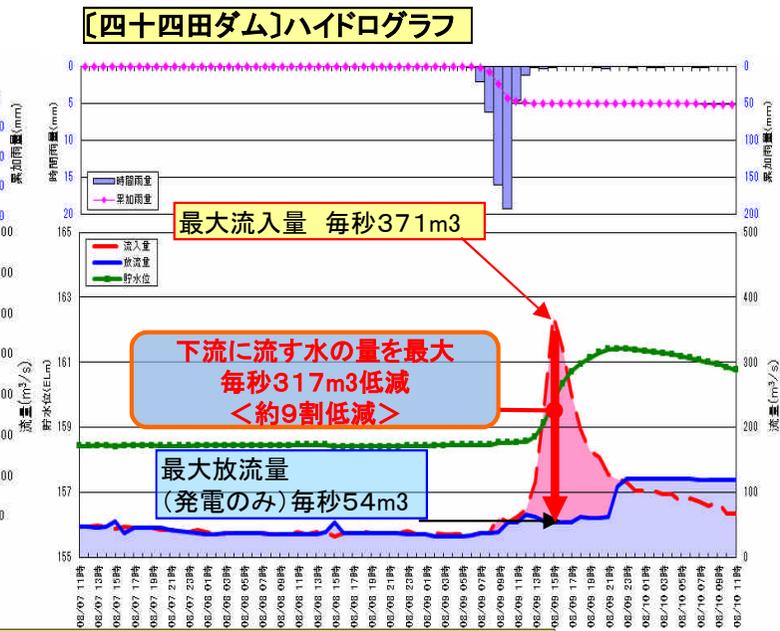
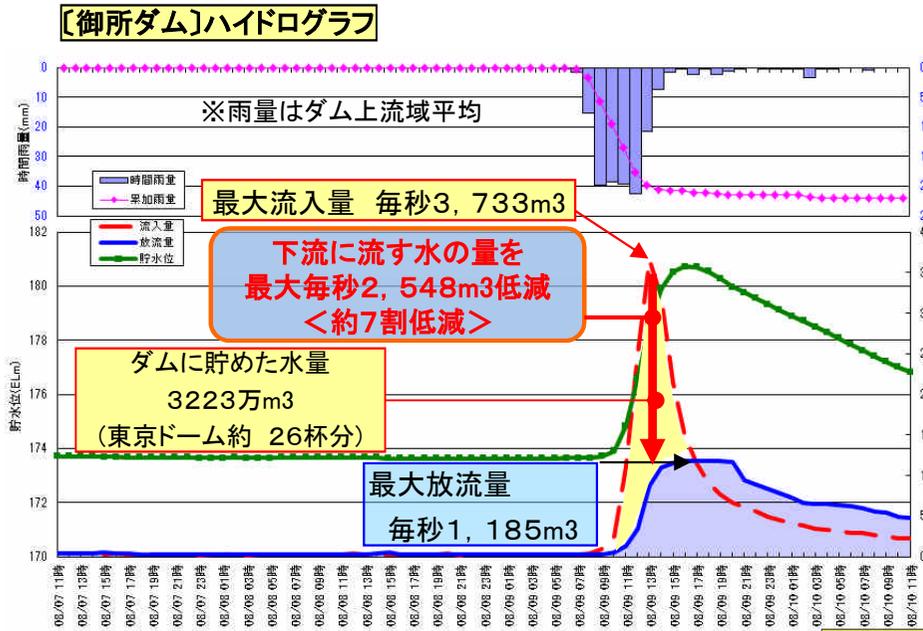
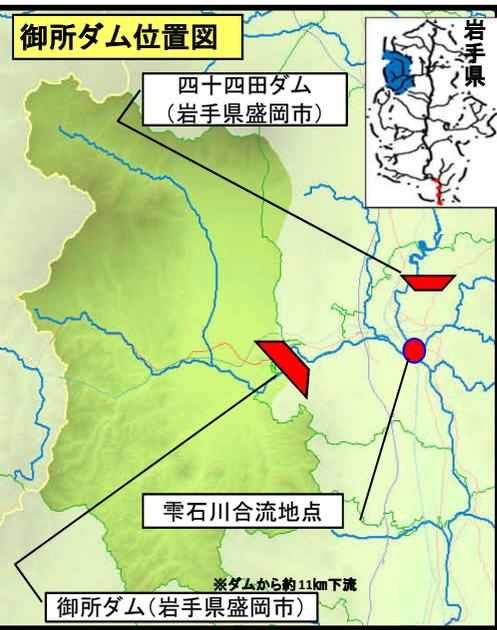
**【約3223万m<sup>3</sup>(東京ドーム約26杯分、岩手県庁約380杯分)の水をダム湖に貯めました】**

○御所ダムの最高水位は180.72mまで上昇し、**洪水時最高水位182.00mまで、あと1.28mにせまりました。**

○盛岡市の雫石川合流点付近では、避難判断水位以下の水位でしたが、ダムが無ければ**約4.0m水位が上昇し、盛岡市街地の各地点ではん濫する危険性**があったと推測され、河川堤防とダムの整備により、今回の洪水被害を防ぐことができました。

(浸水のおそれがあったエリアでは、11,743戸、5,517億円の被害と想定されます)

※数値は速報値



# 北上川水系 御所ダムと四十四田ダムの連携効果 (平成25年8月9日低気圧)

御所ダムと四十四田ダムが無かった場合にはん濫が想定されるエリア

総被害額(億円)	112	総被害額(億円)	1,269
被災人口(人)	1,556	被災人口(人)	8,396
床上浸水戸数(戸)	395	床上浸水戸数(戸)	2,771
床下浸水戸数(戸)	118	床下浸水戸数(戸)	76
浸水面積(km2)	2.5	浸水面積(km2)	1.4

## 四十四田ダム

総被害額(億円)	104
被災人口(人)	1,453
床上浸水戸数(戸)	486
床下浸水戸数(戸)	85
浸水面積(km2)	0.2



凡例

水深

0.5m以下
0.5~1.0m
1.0~2.0m
2.0~5.0m
5.0m以上

× 堤防の決壊が想定される地点

北上川及び雫石川の現況河道において、平成25年8月9日洪水において、御所ダム及び四十四田ダムが無かった場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたもの

※被害想定は推定値です

総被害額(億円)	2,598
被災人口(人)	11,741
床上浸水戸数(戸)	4,114
床下浸水戸数(戸)	34
浸水面積(km2)	3.9

総被害額(億円)	1,434
被災人口(人)	8,996
床上浸水戸数(戸)	3,584
床下浸水戸数(戸)	80
浸水面積(km2)	1.7